

# 文部科学省委託事業「日本語教育ニーズの多様化を踏まえた教育カリキュラム編成・質向上支援事業」 全体統括機関による再委託先 公募概要

## 事業目的

- 就労分野における外国人の目的や受入れ先のニーズ等を踏まえた出口志向の教育高度化に向けて、認定日本語教育機関等が企業等と連携し、教育カリキュラムの編成・改善等を実施する質向上モデルを取りまとめ、広く日本語教育機関等に普及・展開することが当事業の目的
- そのために、教育カリキュラムの編成・改善等を実施し、日本語教育の質向上に挑戦する認定日本語教育機関等を全国から公募する

## 事業内容

- ア：体制構築
- イ：連携先のニーズ調査等
- ウ：カリキュラム編成・改善等に向けた取組【必須】
- エ：試行
- オ：改善・定着

## 実施期間

委託契約締結日から令和9年2月5日(金)

## 支援内容

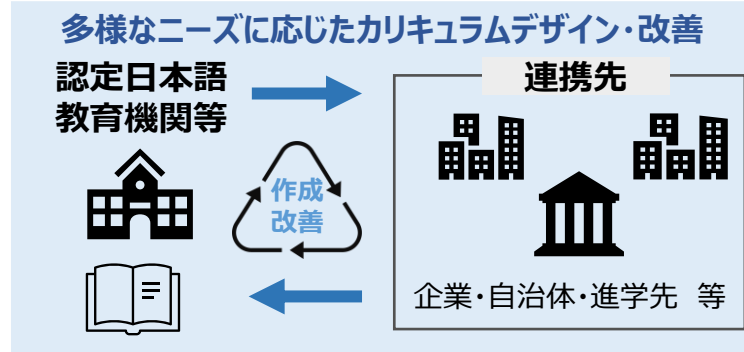
- 採択した申請主体の申請内容に応じて、事務局より以下①及び②の支援を提供する
- ① 委託金額：500万円～1,600万円（税込）／1申請主体当たり
- ② 伴走支援：カリキュラム編成・改善等に係るコーディネーターによる支援、外部専門家によるカリキュラム編成・改善等に係る支援 等

## 応募要件

- 主な要件は下記の通り。全体については公募要領を必ず参照してください。
- ① 認定日本語教育機関等（認定日本語教育機関または令和10年度までに認定申請を予定する日本語教育機関）を含む体制を構築すること
- ② 当事業で連携する連携先のうち、最低1つ以上から参加表明を得ていること
- ③ 令和9年度以降、当事業で取り組んだ内容を継続する意思があること

## 公募期間 審査方法

- 公募期間：第1回目：令和8年6月25日(木)～令和8年7月31日(金)  
第2回目：令和8年8月3日(月)～令和8年8月31日(月)
- 審査方法：全体統括機関による審査を経て採択決定



方策・プロセス・  
教育モデルの普及



主管：文部科学省日本語教育課  
全体統括機関：株式会社パソナ

# 文部科学省委託事業「日本語教育ニーズの多様化を踏まえた教育カリキュラム編成・質向上支援事業」 全体統括機関による再委託先 公募概要

## 事業内容の詳細

### ウは必須項目

その他は、教育展開の状況等を踏まえ、ウに前後するプロセスとして選択実施

## ア 体制構築

教育カリキュラムの編成・改善等（教育手法や評価方法等の改善を含む。以下同じ。）の基盤となる連携先（企業、自治体、進学先等）との体制を新たに構築又は強化する取組

## イ 連携先のニーズ調査等

連携先や外国人材の渡日目的等を踏まえ、求められる日本語能力やその日本語能力到達に向けた課題を把握する取組

## ウ カリキュラム編成・改善等に向けた取組

【必須】  
教育の課題を分析し解決するための手法を考案の上、外国人材の進路（出口）を見据えたカリキュラム編成・改善等を実施する取組

## エ 試行

編成・改善したカリキュラムを試行し、有効性の検証を行う取組

## オ 改善・定着

試行結果等を踏まえ、更にかリキュラム等の改善を行い、継続的に運用可能な形へと整理する取組

## 委託費の内容

（詳細は公募要項を確認の上、申請してください）

## 委託費の使用目的や費目

### ■ 対象となる経費

#### 使用目的

- 事業趣旨・内容に基づき採択された事業に係る経費  
＜例＞  
連携先等のニーズ調査  
連携先へのヒアリングや協議  
新しいプログラムや教材等の作成  
編成したカリキュラムの試行・検証 等

#### 費目

- 人件費（既雇用者も対象）
- 事業費（謝金・旅費等）
- 再委託費、一般管理費

### ■ 対象とならない経費

#### 使用目的

- 採択された事業の本格運用（受益者や第三者から収入を受けてサービスやコンテンツを提供すること）に係る経費
- 再委託先等の経常経費（通常の運営に係る人件費等）